

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

大正大学 実施報告書



実施主体 大正大学オレンジリボン運動推進隊

実施内容 SNSでの情報発信、都立高校での出張講義やアンケート調査、都内小学校の学童クラブでのオレンジリボン運動講座、区民ひろばでの多言語オリジナルポスターの掲示、オープンキャンパスでのミニ講座の実施・お守りの配布、附属図書館が主催する「学びのコミュニティ講座」での活動報告、キャンパス内でのオリジナルポスターの掲示など

①事前に取り組んだ内容

- ・社会福祉入門の授業では、児童虐待の定義や実態を学び、児童虐待の深刻さを知り、オレンジリボン運動の意義を認識することができました。
- ・基礎ゼミナールの授業では、先輩たちのオレンジリボン運動の活動を見聞きし、「児童虐待を防止するためにどのような啓発活動を行うことができるか」についてグループワークを行い、学生同士で意見交換をしました。
- ・「学生によるオレンジリボン運動 オンライン報告会」を視聴しました。
- ・児童福祉論の授業において、子ども家庭福祉にかかわる法制度や支援施策などについて学び、ゲスト講師である子どもの虹情報研修センター増沢高先生の話しから虐待問題について理解を深めました。
- ・ソーシャルワーク演習Ⅲの授業では、学生たちが児童虐待を防止する方法を考え、各クラスでオリジナルポスター・パンフレット・動画作成、リボン制作、プレゼンテーションなどを行いました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

1. Twitter、Instagramでの情報発信（児童虐待の現状、子どもの権利、オレンジリボン運動の意義など）
2. 高校での出張講義やアンケート調査の実施（オレンジリボン運動及び子どもの権利条約に関する認知度、オレンジリボン運動を広めるための方法など）
3. 都内小学校の学童クラブでのオレンジリボン運動講座の実施
4. 区民ひろばでの多言語オリジナルポスターの掲示
5. オープンキャンパスでのミニ講座の実施、お守りの配布
6. 附属図書館が主催する「学びのコミュニティ講座」の実施
7. 附属図書館に児童虐待に関する書籍コーナーの設置、ブックカバーやお守りの配布

8. 人形劇の動画制作
9. 1年生にオレンジリボン運動の講義の実施
10. 学科ブログに学生のオレンジリボン運動の活動内容の掲載
11. オリジナル啓発ポスター、パンフレット作成、掲示
12. オレンジリボンの制作、配布

③オレンジリボン運動を終えて・・・

・高校生への講義では、子どもの権利や児童虐待、「オレンジリボン運動の現状などについて話したり、生徒たちと一緒に啓発物の制作に取り組んだりしました。児童虐待や『オレンジリボン運動』について、高校生の考えを直接聞くことができ、大変有意義な活動だったと感じています

・子どもが読んでも伝わりやすい内容を意識し、SNSの投稿を行いました。何かを発信したり広めたりすることにはSNSの影響は必要不可欠ともいえると思うため、今後私たちのオレンジリボン運動も少しずつ影響力を高めることができるように、投稿や分析を繰り返し考えていきたいです。

・しおりとブックカバーは、シンプルなデザインにすることで、オレンジリボン運動を知らない人でも使いやすいようにしました。また、お守り型のしおりは、魔除けや子どもの健やかな成長の願いが込められている麻の葉文様を使用することで、『子どもたちの笑顔ある未来を守る』という意味を込めました。ぜひ、お手に取ってほしいと思います。

・児童虐待を完全になくすことは難しいと思いますが、今回の活動で得た経験を活かし、卒業後も児童虐待防止に貢献したいと考えています。

・高校での出張講義



・「学びのコミュニティ講座」の実施



・ブックカバーやしおりの配布



【学校名】 <https://www.tais.ac.jp/>